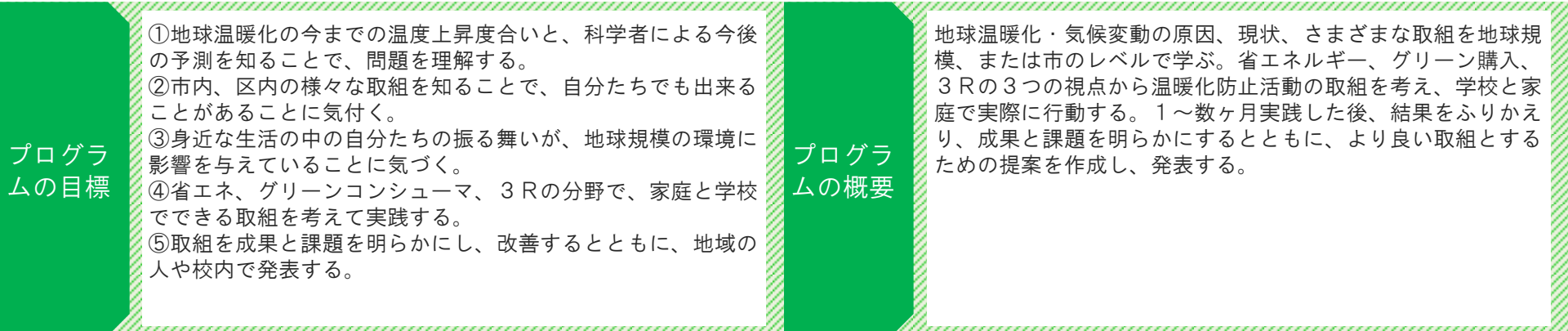
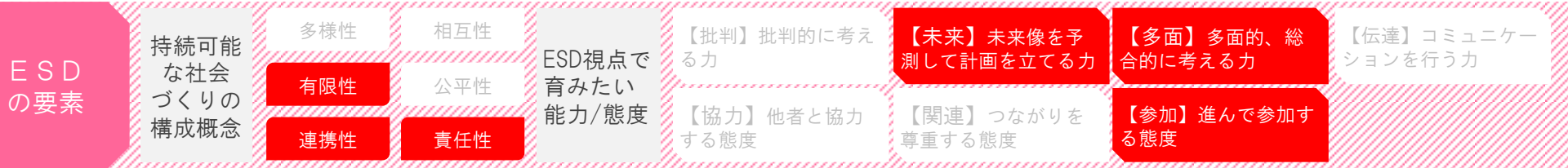


地球温暖化・気候変動への理解と緩和策を考える

小学校低学年 小学校高学年
 小学校中学年 中学校



学習指導要領との関連

学年	小学校3・4年	小学校5・6年
教科/領域	社会	家庭
学習内容	(3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。 ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり イ これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること。	D 身近な消費生活と環境 (2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。 ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること。



地球温暖化の原因、将来予測を知り、対策をとらないと地球環境が悪化することを学ぶことで、地球の有限性を学ぶ。



市の目標にも関係することが掲げられており、実際、様々な連携が行われていることを学ぶことにより、その必要性を理解する。



地球温暖化は一人ひとりの暮らしが積み重なって起こることを学ぶことで、みんなが責任をもっていることを学ぶ。



地球温暖化に関して、過去からの変化を知り、人間活動の内容によって、未来の地球環境を左右することを学ぶ。



地球温暖化をもたらすのは、太陽エネルギー、大気、海、植物の役割、人間活動の影響など、多面的に考えることの必要性に気付く。



地球温暖化防止への取り組みは、人ごとではなく、個人・学校・家庭・地域社会が連携しながら取り組む必要があることに気付く。

ESDで育みたい能力／態度

プログラム（単元・題材）の展開の流れ

総時間
9時間

1

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

地球温暖化はなぜ起こるのだろう？

1時間目

- 地球温暖化・気候変動の現状を知る
- 地球温暖化のメカニズムを考える
- エネルギー開発・消費問題との関係を知る

- ◇印象を深めるため、ビデオ、アニメを用いる。
- ◇必要に応じて映像を用いたり、外部講師（専門家、環境団体、地球温暖化防止活動推進員等）と連携したりすることにより、学びが深まる。
- ◇温暖化が起こるメカニズムを実験で明らかにしても良い。

〔映像資料等〕

批判

未来

多面

伝達

協力

関連

参加



	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
2時間目	<p>身近なところでの取組を知る</p> <p>○市内、県内の資料を調べ温室効果ガスの排出源と量を知る</p>	<p>◇市内の温室効果ガス排出量、排出源ごとの排出量などのデータを見て、実情を理解する。</p> <p>◇排出抑制のために、どこで、誰が、どのような取組をしているかを知る。</p> <p>◇理解を深めるため、実物を見せながら説明する。</p> <p>〔取組紹介の実物〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	
3時間目	<p>暮らしと地球温暖化</p> <p>○身近な生活が与える影響に気づく</p>	<p>◇環境ゲームを使用して、楽しみながら、理解する。</p> <p>〔環境ゲーム〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	
4時間目	<p>電気を作ってみよう</p> <p>エネルギー、省エネについて学ぶ</p>	<p>◇手回し発電により電力を得るために、多くのエネルギーを使うことを実感する。</p> <p>◇電気器具の選び方によって省エネルギーができることを体験的に理解する。</p> <p>◇班ごとに話し合い、自分たちにできること、家庭や学校で取り組めることを考え、行動のきっかけとする。</p> <p>〔手回し発電セット〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
5時間目	<p>買い物と地球温暖化の関係を考えよう</p> <p>○消費行動が環境に与える影響を学ぶ。 ○消費生活を見直す。</p>	<p>◇身近な商品やサービスについて、環境についての影響（ごみ、温室効果ガスの排出、化学物質など）について、実物や映像資料を参照して知る。 ◇班ごとに話し合い、自分たちにできること、家庭や学校で取り組めることを考え、行動のきっかけとする。 〔フリップカード〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	
6時間目	<p>「3R」とは何だろう？</p> <p>○3Rの意味を知る。 ○ごみ減量の行動を考える。</p>	<p>◇ごみ分別ゲーム体験により、3Rについての理解を深める。 ◇班ごとに話し合い、自分たちにできること、家庭や学校で取り組めることを考え、行動のきっかけとする。 〔ごみ分別ゲーム〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	
継続	<p>行動しよう</p> <p>○自分たちが取り組むことを考える ○クラスでの取組と家庭での取組を考える</p>	<p>◇省エネルギー、消費行動、ごみの3つの視点からクラスで取り組むことを考える。 ◇次の日から、実際にクラス全員で取り組む。 ◇1ヶ月～半年くらいの期間、実際にやってみる。</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
7時間目	<p>行動の結果をふりかえろう</p> <p>○実際に取り組んだ結果、どうなったかをふりかえる ○どうすれば、もっと良い取組ができるようになるか考える</p>	<p>◇取り組んだ成果と問題点をふりかえる。 ◇取組をもとに、今後の学校や家庭での参考となる事例や提案をまとめる。</p>	批判	未来
			多面	伝達
			協力	関連
			参加	
8・9時間目	<p>みんなに伝えよう！</p> <p>○全市の環境・エネルギーワークショップで発表する</p>	<p>・自分たちで行動した結果わかったこと、問題点や成果を発表し、学校、地域、家庭での取組を提案する。 ・全員が発表に参加できるよう役割分担を明確にする。 〔外部の専門家〕</p>	批判	未来
			多面	伝達
			協力	関連
			参加	

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

- 地域プログラム化メンバー
- ・神奈川県環境農政局環境部環境計画課
 - ・川崎市環境局総務部環境調整課
 - ・認定特定非営利活動法人アクト川崎

- 実証協力校等
- ・川崎市立子母口小学校
 - ・川崎市立上丸子小学校